

# 委員会報告

## 予算関連

### 予算決算特別委員会

#### 議案16件を審査

平成23年度の一般会計補正予算、特別会計補正予算、公営企業会計補正予算8件と平成24年度の一般会計予算、特別会計予算、公営企業会計予算8件を審査原案のとおりに可決すべきものと決しました。

- Q** 納税者に対して公平、公正な徴収に努めているか。
- A** 年3回全職員の協力により一斉滞納整理をおこない滞納者を減らし徴収率向上に努めています。
- Q** 教育振興費前年度比較で増額の内訳は。
- A** 中学校パソコン教室機器老朽化のため入れ替えリース料と教科書改訂に伴う指導用教材の購入費用です。
- Q** ジオパーク構想を推進する対策は。
- A** 解説員のみでなく案内

- Q** 児童福祉総務費前年度比の減額の内容は。
- A** 保育所1園減及び園児数の減少、子ども手当の額の変更に伴う減額です。
- Q** 放射性物質汚染対策事業の内容は。
- A** 国庫補助と県補助で、事業は2月町全域の測定調査が終了し16行政区が除染対象エリアとして該当する予定。環境省等と協議し計画を進めていきたい。
- Q** 出産育児手当一時金について本人が一時立替えるのか。
- A** 国保連を通して直接町にケアマネ派遣に対する補助及び介護予防支援計画作成委託料です。
- Q** 荒船の湯運営費の削減の理由は。
- A** 閉館時間を午後9時、冬は午後8時としていたが、年間を通し午後8時とし賃金、燃料費、賄料等が減額となります。
- Q** 有害鳥獣駆除対策の内

- Q** 内容。
- A** 主に駆除委託料、ワナの購入費用、賠償責任保険掛金、消耗品です。
- Q** 橋梁長寿命化修繕計画の内容は。
- A** 町で管理する橋長15m以上の橋を点検、結果に基づき今後計画的に補修等を行ってメンテナンスを充実させることが目的です。

## 総務常任委員会視察

平成24年1月30日(月) 長野県松川町

- 平成の合併では5町村で合併協議に入ったが住民投票により単独行政を維持している。
- ① 行革を推進し、行財政改革推進会議や松川町自治体経営審議会を設けて意欲的に推進に努めた。自治体経営改革プランを作成、改革を定め、人事評価制度の導入や人材育成を進めた。
- ② 1. 人事評価制度は長野県の50%の自治体を実施している。
- ③ 職員が総務省の「地域リーダー養成塾」に参加、「一橋大学法学研究科、辻塚也教授」のゼミに参加して接点が出来、18年に試行、19年から施行して5年目。
- ④ 人事評価制度の導入
- ⑤ 町で管理する橋長15m以上の橋を点検、結果に基づき今後計画的に補修等を行ってメンテナンスを充実させることが目的です。
- ⑥ アンケートの結果は、人材育成に有効87%、有効でない13%であった。
- ⑦ 降格制度については、申出方式としている。
- ⑧ 議会は関与せず「下から上の評価はないのか」の質問くらい。
2. 行政改革については松川町自治体経営改革プランを作成して推進中。
3. 機構改革について
- ① 松川町職員適正化計画を作成し、最適な職員数管理を行う。
- 平成13年131人↓18年117人↓22年105人(正職81人・臨職24人)
- ② 人口千人当りの正職員数は「6・02人」、類似団体平均「11・2人」を下回る。
- ③ 権限委譲事務など事務量は増加している、自立路線を歩むために正職を減らして臨時職を増やし、仕事を果たしている。職員の時間外労働は月5時間を頭打ちとしている。
4. 特出すべき事項
- ① 12月議会定例会で14名の議員中、10名が一般質